

科目名	老年期学					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期	2年	後期
【授業の目的・ねらい】 高齢者の取り巻く環境や高齢者自身の捉え方、高齢者特有の状況や疾患を理解する。										
【実務者経験】										
【授業全体の内容の概要】 老化と加齢の違い、高齢者へのアプローチ手法、特有疾患群の理解を幅広く学ぶ。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 高齢者を理解できる。										
回数	講義内容								準備物(教材)	
1	老化と老年病の考え方、加齢に伴う変化（生理機能・運動機能・精神心理面）									
2	高齢者へのアプローチ（高齢者の定義と人口動態、高齢者との接し方、高齢者の機能評価、高齢者の薬物療法の考え方）									
3	高齢者に特徴的な疾患（老年症候群、循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、骨・運動器疾患、神経疾患、内分泌代謝疾患、血液免疫疾患、腎疾患、泌尿器疾患、皮膚・口腔疾患、感染症、耳鼻咽喉疾患、眼疾患）									
4	高齢者に特徴的な疾患（認知症）									
5	高齢者に特徴的な疾患（認知症）									
6	高齢者に特徴的な疾患（認知症）									
7	高齢者に特徴的な疾患（うつ）									
8	高齢者を取り巻く環境、高齢者の終末期医療									
【使用教科書・教材・参考書】 標準シリーズ老年学										
【準備学習・時間外学習】 1回での講義の幅が広いため、復習として整理していくことが必要である。特に、認知症は十分理解しておく必要がある。										
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。										